

日本地球電気磁気学会会報 (第59号)

1973年9月14日

日本地球電気磁気学会

連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16

(〒113)

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111(内線6476)

振替 東京 4860番

第54回総会並びに講演会についてのお知らせ

本年秋の学会は名古屋大学空電研究所の担当で下記の通り開催されます。

会場：豊橋市民文化会館

豊橋市向山大池町20-1

TEL 0532-61-5111

日時：昭和48年11月27日(火)～30日(金)

講演申込締切 10月9日(火)

講演予稿 }
総会議題申込 } 10月27日(土)

尚、講演予稿集の原稿は同封の規定用紙を使用して下記宛お送り下さい。

そのままゼロックス印刷となりますから黒インク若しくは、黒ボールペンを
使用して丁寧にお書き下さい。

書き損じた場合は用紙を当学会事務所で再交付いたします。

東京都文京区弥生2-11-16 〒113

東京大学理学部地球物理学教室内

日本地球電気磁気学会

旅館案内

旅館は宿泊費の相違により，3つの階級にわけました。料金は1泊2食，税，サービス料こみのものです。各旅館共会場までの送迎バスの用意があるとのことなので旅館に到着された際，フロントにてこの点をお確かめ下さい。

猶，旅館側は1室2名を考えているようなので1室1名御希望の方は申込みの際その旨を明記して下さい。

申込みの形式は自由ですが下記の例にならって各自遅くとも10月20日迄に各旅館に必着するように御手配下さい。猶申込みの際，前納金として1泊に付1,000円を御送金願います。

氏 名
性 別 男 女
日本地球磁気学会出席，
希 望 1 室 名
宿泊希望月日， 月 日～ 月 日迄
前納金 円を添えて宿泊を予約 いたします。

猶，各旅館共約15名位を予定しているようなので早めに御予約下さい，同一旅館に収容しきれない場合，適宜同一価格の旅館に配分させていただきますので御了承おき下さい。

番号	旅館名	住所	電話	料金	形式
1	豊橋グランドホテル	豊橋市駅前大通2-48	0532-55-6221	シングル 3,000 ~ 3,500	洋式
2	豊橋ビジネスホテル	花園町12	53-5463	バス付 シングル 1,800 1,980 2,640 2,800	洋式
3	二葉	花田石塚24	54-4148	3,500	和式
4	カク	大橋通2-53	55-3275	3,500	〃
5	水月	松葉町1-63	52-1819	3,000	〃
6	松米	八町通2-46	52-5058	3,000, 2,500	〃
7	花乃家	花田町野黒	31-6430	3,500, 3,000	〃
8	きくや	上伝馬町55	55-8281	2,500	〃
9	中村屋	上伝馬町43	52-2624	2,500	〃
10	中屋	大橋通1-80	52-3329	2,500	〃
11	石山荘	石巻町南山	88-0117	3,500, 2,500	(温泉)
12	見晴荘	〃	88-0321	3,500, 2,500	(〃)
13	吾妻家	松葉町3-77	53-4555	3,500以上	和式

131

田中館賞受賞者推薦について

昭和48年11月29日第54回総会においての田中館賞受賞者を推薦される方は下記の書類を委員長又は当学会事務所宛に48年10月27日必着でお送り下さい。

1. 推薦調査(著者名・論文名・推薦理由・論文リスト・推薦者(名))
2. 添付論文別刷

部数 各12部

下記助成金について推薦書が届いて居ります。
詳細は学会事務所におたずね下さい。

東レ科学技術研究助成金について

11月15日(木) 〆切

尚、今回は、「環境問題等人類の生存に関係の深い基礎的な研究について特に配慮されたい」由の注が付いています。

山路自然科学振興財団研究助成について

9月30日(日) 〆切

年令 45才未満

仁科記念奨励金

10月31日(水) 〆切

原子物理学およびその応用に関する研究にたずさわる個人または集団を対象とし総額600万円贈呈、

第17回 宇宙科学技術連合講演会が次の日程で開催されます。

日時：昭和48年10月29, 30日

場所：航空宇宙技術研究所

東京都調布市深大寺町1,880

宮部直己会員は本学会創立当初からの会員として学会の発展に理解を持たれ、学会開催等に協力されましたが今年8月19日逝去されました。

同会員は昭和2年東京帝国大学理学部物理学科を卒業と同時に同大学地震研究所に入所され、地殻変動、地盤沈下等について業績をあげられ、11年同大学助教授となり、16年名古屋帝国大学教授を命ぜられた。25年建設省地理調査所(現在の国土地理院)監査室長に迎えられ、測図部、地図部、測地部の各部長を歴任され、35年後進に途を譲るべく退官された。その後、国連技術援助専門員としてソマリア国に在勤され、帰国後も資源調査会専門委員、東京都地盤沈下対策審議会委員、千葉県地盤沈下対策委員会委員長、川崎市防災会議地震専門部会長として活躍されていた。39年、氏の豊富な学識と経験を囑望され駒沢大学教授として尽力され今日に至ったのでありますが不幸にして急逝されたことは痛惜の極みであり、宮部会員の御冥福を祈る次第です。

--- ① ---
ホーラーカズワカシの
ワラズ"ア流入に於る
電離効果

Polar Sweep